

マチエイの チェンバロ・リサイタル

J.S.バツハとスカルラツティ

Early Music Series

音楽の愉しみ

2023年ブルージュ国際古楽コンクール優勝
24歳、ポーランドの若き才能



チェンバロ: マチエイ・スクシェチュコフスキ

CEMBALO

MACIEJ SKRZECZKOWSKI

J.S.バツハ J.S.BACH

リュート組曲 ハ短調
前奏曲、フーガとアレグロ
ソナタ ニ短調BWV964
(無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番)
(BWV1003からの編曲)
ソナタ ニ長調BWV963

D.スカルラツティ D.SCARLATTI

ソナタ
へ長調K. 106 / へ長調K. 107
変ロ長調K. 272 / 変ロ長調K. 273
変ホ長調K. 474 / 変ホ長調K. 475
ト長調K. 259 / ト長調K. 260
ハ長調K. 157 / ハ短調K. 158
ニ長調K. 313 / ト長調K. 314 ※順不同



使用楽器

アトリエ・フォン・ナーゲル社
2005年製
N&F. プランシェ1730年モデル
兵庫県立芸術文化センター所有

2026.

6/13 土

2:00PM開演 (1:30PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口脇/JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

一般発売

3/1
日

芸術文化センター
チケットオフィス

0798-68-0255
(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は3/3(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

2/27 金

※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる
場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

音に宿る、真の品格

芸文センター初登場 新星チェンバリスト

マチェイ・スクシェチュコフスキは、ポーランド出身の俊英チェンバリスト。2023年ブルージュ国際古楽コンクールでの優勝を機に国際的に注目を集め、ヨーロッパ各地でのリサイタルやオーケストラとの共演を重ねています。彼の演奏は、比類ない明晰さとエネルギーに満ち、精緻な表現が特徴。また、音色の変化を巧みに操り、チェンバロの響きを驚くほど豊かな表情へと導く点も高く評価されています。深い音楽的洞察力と確かな技術を備え、今後の飛躍が期待されている次世代を担うチェンバリスト。今回のプログラムはバッハとスカルラッチェ。バロック音楽の巨匠バッハの作品は、声部同士の精緻な絡み合いが最大の魅力。そしてスカルラッチェはスペイン宮廷に長く仕えた影響で、スペイン音楽のリズムや響きが垣間見える、色彩豊かな作品です。古楽界に颯爽と現れた、新星マチェイのバッハとスカルラッチェ。ご期待ください！

MESSAGE

親愛なる聴衆の皆さま、そして音楽を愛する皆さまへ

このたび兵庫県立芸術文化センターにて演奏する機会をいただき、大変光栄に思っております。バッハとスカルラッチェのチェンバロ作品を、皆様と素晴らしい会場で分かち合えることは大きな喜びです。

再び日本に戻って来ることが出来、私の心は特別な温かさで満たされています。日本の聴衆の皆さまがクラシック音楽に寄せる深い敬愛の気持ち、そして演奏に耳を傾けてくださるときの真摯で思慮深い姿勢は本当に特別です。2年前に初めて訪れた際、日本の文化と優しさに魅了されましたが、音楽を受け取ってくださる姿勢はとりわけ心に残っています。バロック時代のチェンバロ屈指の名曲の数々を皆さまと再び共有できることを心から嬉しく思っています。

皆さまとお会いし、ともに音楽の旅へと出られることを楽しみにしています。

温かい挨拶と心からの感謝とともに。

マチェイ・スクシェチュコフスキ



©Piotr Grzybowski

マチェイ・スクシェチュコフスキ (チェンバロ) MACIEJ SKRZECZKOWSKI (EMBALO)

2001年生まれ。ポーランドのチェンバロ奏者、フォルテピアノ奏者。ポーランド国内外の数多くのピアノやチェンバロのコンクールで入賞を果たしており、2019年のミラノ国際チェンバロコンクールで第3位に入賞。2023年にブルージュで開催されたブルージュ国際古楽コンクールでは優勝し、同コンクールの歴史上最も若い優勝者の一人となった。同コンクールではアウトヒア特別賞も受賞している。

ポーランド国内ではワルシャワ・フィルハーモニーホール、ショパン博物館、ルトスワフスキ記念ポーランド放送コンサート・スタジオ、ショパンの生家(ジェラゾヴァ・ヴオラ)、クラクフのミステリア・パスカリア音楽祭、グダニスクのアクトゥス・ヒュマヌス音楽祭などに出演しているほか、イタリア、フランス、ベルギー、オランダ、イギリス、日本、韓国でも演奏している。

2019年には、ウカシュ・ポロヴィチ指揮シンフォニア・ユヴェントウス管弦楽団とともに、ロマン・パレストル《チェンバロと10の楽器のためのコンチェルティーノ》の世界初録音に参加。このアルバムは後にポーランドの権威ある音楽賞「フリデリク賞」にノミネートされた。

また、フランツ・シューベルト作品の紹介にも力を注いでおり、2022年にはハーグ王立音楽院にて、シューベルトの全ソナタを世界で初めて一挙に演奏するコンサートを開催した。以来、シューベルト作品を継続的に取り上げている。

2023年にはポーランド音楽界最高の栄誉の一つである「コリフェウシユ・

ムジキ・ポルスキエイ賞」における「年間発見部門」にノミネートされた。

2024年には、前年のブルージュ国際古楽コンクールでの優勝およびアウトヒア賞の受賞を受け、デビュー・ソロ・アルバム《ザ・リアル・ジョン・ブル》を録音した。イギリスの作曲家ジョン・ブルの多彩な20曲で構成され、すべてヴァージナル(イギリス製およびフランドル製の母子ヴァージナル)で演奏している。同年9月にベルギーの古楽専門レーベル、リッセルカールよりリリースされた。2025年にはポーランドの35歳以下の若手アーティストや文化人を表彰する「パシュポルト・ポリティキ」クラシック音楽部門にノミネートされた。

アンナ・コジニェフスカに師事してブオニスク国立音楽学校ピアノ科でアンナ・コジニェフスカに師事して音楽教育を受け始めた。その後、ワルシャワのゼノン・ブジェフスキ音楽学校にてマレク・ブラハにピアノを、ベアタ・ポピスにチェンバロを師事した。そののちハーグ王立音楽院に進み、キャロル・セラシ、バルト・ファン・オールト、ベトラ・ソムライのもとでチェンバロとフォルテピアノを学んだ。現在はアムステルダム音楽院にて、クリス・フェルヘルストおよびメンノ・ファン・デルフトの指導のもと研鑽を積んでいる。また、スキップ・センベ、ピエール・アンタイ、ヴワディスワフ・クウォシェヴィチ、エルジュビエタ・ステファンスカ、クリスティアン・ベザイデンホウト、クリストフ・ルセラによるマスタークラスにも参加し、研鑽を積んでいる。

<https://maciejkskrzeczkowski.com/>



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

